

中山千夏さんが講演 大山町人権講演会

3月17日(日)、講師に中山千夏さんをお招きし、「大山町人権講演会」を保健福祉センターなわで行いました。今回は、この概要を報告します。

「人権の舟」

講師の中山千夏さんは、8歳で舞台デビューされ、「名子役」時代を経て、70年代に入るとライターとなり、女性解放運動や人権社会運動家としても注目されました。このころの体験を通して、自分なりに人権についての考え方を確立されていったそうです。

現在は作家活動に専念されていて、まず最初に、ご自身の作品の中の一冊「友だちのつくり方」をもとに話をされました。この本は幸せの関係をつくる大人のトレーニングのために書かれているという本で、「人間はみな平等」ということを強調されました。

また、フランス国旗が自由、平等、博愛を示していることや世界人権宣言の第1条で「人間は生まれながらにして自由であり平等である」と規定し、人間としての尊厳、人間としての権利をうたっていることを話されました。日本においては、現憲法で国民の権利をうたっています。しかし、在日外国

人の人にとつては権利の保障はなく、そういう意味からしてもまだまだ弱い憲法であると述べられました。

今回の講演のタイトルは「人権の舟」です。中山さんは、『私たち人間は、大切な命と暮らしを乗せた舟に乗っている。その舟に乗って進む』という意味を演題に込めたと説明され、「人権社会とはお互いを大切にすること」「人間らしく生きること」について言及されました。

最後に、原発のことについて触られました。原発は作ったことがミスであり、人権侵害の政策であるので、原発はやめたいということを強調されました。これからは再生可能エネルギーの開発をし、特に小水力発電が一番であることを熱く語られました。

やわらかな口調ながら、歯切れよく人権についてのメッセージを伝えられ、心にしみこむ講演会でした。

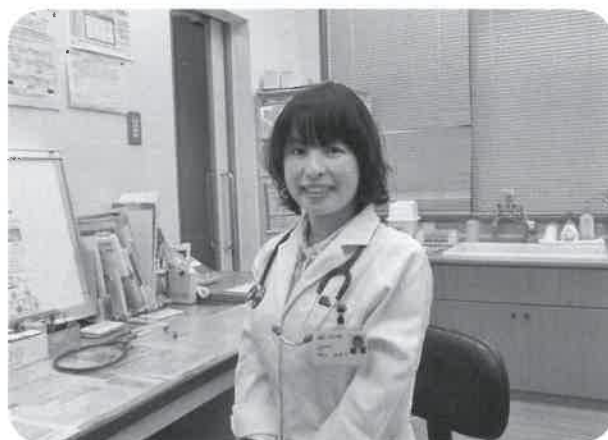


▲講演会に、町内外から約100人が参加しました。

よろしくお願いします！

名和診療所所長に

紙本美菜子医師



▲優しい笑顔の紙本美菜子医師

2年間お世話になった藤田良介所長に代わって、新しく紙本美菜子医師(30)が名和診療所所長となりました。紙本所長は大山町出身で、ご主人と5か月になる子どもさんと3人暮らしです。また趣味はカラオケだそうです。

名和診療所勤務前は、日南病院で勤務されていました。名和診療所所長として抱負をお聞きしたところ、「地元出身なので、この診療所で皆さんと出会えるのをうれしく思います。皆さんの健康づくりのお役に立ちたいです」と答えてくださいました。これからどうぞ、よろしくお願いします。

